堺区が取り組む区民評議会とは

■区民評議会とは

「身近なことは、身近なところで決める。」をスローガンに、堺区のまちづくりについて、実際に区に住んでいる方や働きしている方が中心となって議論しています。
現在は、20〜70代の幅広い年齢層で、大学生や専門家、会社員、NPOなど様々な経験のお持ちの方13人で構成されています。

■区民評議会で何をしているか？

堺区を「住んでよい、働いてよい、訪れてもよい」のまちにすることを目指し、ただ議論するだけではなく、フィールドワークや実際にモデル事業を行ってみて、その成果を検証しています。
区民評議会では、「住んでよい、働いてよい、訪れてもよい」を実現するための3つの将来像が示されました。
①「住んでよい」・・・地域活動などの充実により地域の力を強くし、区民が住みとり孤立しない、つながりが実感できるまち
②「働いてよい」・・・堺区に暮らしながら、就職したい・起業したいといった思いが実現できるまち
③「訪れてもよい」・・・子供の顔から郷土に関心を持つことで地域に誇りを持ち、訪れた方に対するおもてなしの心が豊かなまち

そして、将来像の実現に向けて、様々なモデル事業が実施されています。
INTRODUCTION

「堺区ハートとワークスペース」は、市民の皆さんと市の現状や取り組みをご理解いただくとともに、市長や区長と直接対話を行っている場です。
また、ステーション構では、様々なまちづくり活動団体が情報交換や交流を行うポスターショップを開設しておりますので、ぜひ、お立ち寄りください。

TIME SCHEDULE

10:30～ 市長基調講演：テーマ「安全・安心で築く“まちづくり”」
＜スピーカー＞竹山 修平（堺市長）

10:50～ バリューディスカッション：テーマ「地域のつながりづくり」
＜ファシリテーター＞大橋 賢也（株式会社ブランディングコンサルタント代表取締役）

11:10～ 資産見直し・意見交換
ポスターショップにステージを使って、まちづくりに参加する団体の活動内容をポスターで展示し、来場者が紹介するポスターショップと情報交換を行うためのフリースペースを設置しています。

GUEST PROFILE

▲ファシリテーター
大橋 賢也
株式会社ブランディングコンサルタント代表取締役

1981年大阪大学政治学部卒業、大阪大学大学院客員学生、1991年3月‐代表取締役退職。
この間、市民や自治体に対する、活動の立ち上げや見直しを多く指導している。市民活動や、地域の活動においても特に活躍がある。

▲バリネスト
小池 志保子
市民団体「堺市北区北街住民の会」

定期的な会議では、地域課題の解決策について話し合っている。地域の課題解決に努めている。

NPO法人 堺北町

代表者：大和 亮
目的と主な活動：地域課題解決に努める

NPO法人 堺北町

代表者：有田 潔
目的と主な活動：地域における交流を促進する

SOCIAL GOOD SAKAI

代表者：岡本 博
目的と主な活動：地域を支える者を育成する

POSTER SESSION

ポスターショップには、まちづくり団体、大学や企業など十数団体が集結、ぜひ立ち寄ってください。

NPO法人 堺北町

代表者：小野 賢
目的と主な活動：地域の交流を促進する

ポスターショップで、地域社会の問題解決に努力する団体の報告が出され、地域の交流が促進される。
INTRODUCTION

「堺区ハートトーキーサロン」は、市民の皆さんが市の現状や取り組みを理解いただくとともに、市長や区長と直接対話を行っていた場です。

また、ステーションでは、様々なまちづくり活動団体が情報交換や交流を行うポスターセッションスペースを開設しておりますので、ぜひ、お立ち寄りください。

TIME SCHEDULE

10:30～ 市長基調講演：テーマ「安全・安心で築くまちづくり」
＜スピーカー＞竹山 修（堺市長）

11:00～ 質疑応答・意見交換

ポスターセッションスペース（10:30～15:00）

ポスターセッションスペースに、まちづくりに関わる団体の活動内容を紹介するためのフライヤーシーズを設置しています。

GUEST PROFILE

芳田特助：大橋 塚（株式会社ライフプランニングセンター代表取締役）

小池志保子：松口 知（大阪市立大学文学部教授）

NPO法人 堺市経済・文化振興課

代表者：高橋 潔

代表者：高橋 潔

代表者：堺市経済・文化振興課

ポスター・セッションは、まちづくり団体、大学や企業など多集団が集結し、ぜひ、お立ち寄りください。
INTRODUCTION OF PLAYERS

まちづくり活動家の
ビッグアップ紹介

Q1. なぜ今この活動をしているのか？

Q2. まちづくりにおいて行政とどう付き合いにくいのか？

Q3. まちづくりで一番大切だと思うことは？

活動解説

まちづくり活動家 EXSA（エクサ）

活動解説

まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。

活動解説

まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。まちづくり活動家 EXSA（エクサ）は、まちづくりの wang と活動を深めることが大切だと思う。
まちづくりQ&A

Q1. なぜ今の活動をしているのか？

事業の大きさが大きく、まちづくりの重要性を理解し、市民との関係を深めるために、まちの活性化を目指しています。市民との関係を深めるために、まちづくり活動を行っています。

Q2. まちづくりにおける行政と行政どう付き合い方がいえているのか？

まちづくり活動における行政との付き合い方として、市民との意見の交換を行い、共創的な活動を行っています。市民との意見の交換を行い、共創的な活動を行っています。

Q3. まちづくりで一番大切だと思うことは？

まちづくり活動における行政との付き合い方として、市民との意見の交換を行い、共創的な活動を行っています。市民との意見の交換を行い、共創的な活動を行っています。
まちづくりQ&A

Q1. なぜ今この活動をしているのか？
全てのスビングミルに出会ったことで、いままで顔の内で抱えていたいろんな可能性をイメージ出来たから。

Q2. まちづくりにおいて行政とどう付き合うべきなのか？
未来をよくわかっていませんが、新たな活動をサポート（広報など）していただけるような関係性を築ければ良いと思います。

Q3. まちづくりで一番大切だと思うことは？
市民や住民はそれに来る人たちに「自分ごと」として認識される事と、活動する側の熱意が何よりも大事です。

活動図解

スビングミルフォトスタジオ無イベントスペース
場所の力（魅力）を活用し様々なジャンルのおもしろいを発信し続ける場

71labo創作スタジオ無イベントスペース
有形無形問わず新たな価値をものづくりをする人の創作・発信の場

クリエイティブのあるおもしろい地域

矢本 憲久

まちづくりQ&A

Q1. なぜ今この活動をしているのか？
自分が住み・生活が集まる方が良く収まっていたから、楽しいから。
また、歴史ある街を少しでも良く、次世代につなげていきたいから。

Q2. まちづくりにおいて行政とどう付き合うべきなのか？
住民と行政は、まず、互いに相手の立場を理解し、それぞれの役割を果たすから、同じ方向を向いて協力しましょう。

Q3. まちづくりで一番大切だと思うことは？
自分の事として、自分が出来ることから始める大切。周りの人が共感し協力しあえる環境を作ることが大切。

活動図解

地域イベント

- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
- 堺市中区市内
小野 晃 蔵

SPinnNG MILL [スピニングミル]代表／写真家

自分のおもしろいを大切に、人のおもしろいに共感する。

第100年を迎える紡績工場事務所だった建物を改装した「スピニングミル」。現在は、小野氏の木葉である写真家としてのファストファッションで、同時に、様々な人が参加できるイベントスペースとしても運営。面倒な影はそこに住んでいる人々が作り出すをテーマに、マーケットや音楽の演奏会、写真やアートの展示会など、様々なイベントが開催され、自らイベントの企画・運営を行う。スピニングミル・紡績工場と名付けられているその場所は、今では「糸をつなぐ場所」「人をつなぐ場所」へと変貌し、若い人から年配の方まで多くの人が交流し合う場となっている。

また、最近はタウンバー会事務所の営業所建設を数件の仲間と共に当たり、「71labo」という新たなものづくりの場groundをつくる了。

まちづくりQ&A

Q1. なぜ今のおもしろいを大切にしているのですか？
全てはスピニングミルに出会ったことで、今まで思い込んでいたいろいろな可能性をイメージ出来たから。

Q2. まちづくりにおいて行政はどう付き合い合っているのですか？
未だよくわからないですが、皆さんの活動をサポート（保護）しているような関係を築ければ良いと思います。

Q3. まちづくりで一番大切だと思うことは何ですか？
市民や住民およびそこに住む人々に「自らご自由」として認識されること、活動する側の熱意が何よりも大事です。

活動図解

スピニングミル

「ファストスタイルを

イベントスペース

場所の魅力（魅力）を活用し

様々なジャンルのおもしろい

発信し続ける場

有形無形問わず新たな

価値をものづくりをする人の

創作・発信の場

クリエイティブのあるおもしろい地域

まちづくりQ&A

Q1. まちづくりにおける行政とどう付き合い合 rápidaようにですか？
住民と行政は、まず、互いの立場を理解し、それぞれの役割を果たすとして、同じ方向を向いて協力しあう。

Q2. まちづくりで一番大切だと思うことは何ですか？
自らが出来ることを結び合うことが大切。周りの人が共感し、協力しあえる場を作ることが大切。
区民評議会とは

「身近なこと、身近なところで決める。」をスローガンに、堺区のまちづくりについて、実際に堺区に住んでいる方や働いている方が中心となって議論しています。
現在は、20～70代の幅広い年齢層で、大学生や商社員、会社員、NPOなど様々な経験をお持ちの方13人で構成されています。

区民評議会で何をしているの？

堺区を“住んでよい、働きよく、訪れてよい”のまちにすることを目的に、ただ議論するだけではなく、フィールドワークや実際のモデル事業を行ってみて、その成果を検証しています。
区民評議会では、“住んでよい、働きよく、訪れてもよい”を実現するための3つの将来像が示されました。
①「住んでよい」地域活動などの充実により地域の力を強し、区民が連携し成立しない、つながりが実感できるまち
②「働きよくよい」地域で暮らしながら、就職したい、就業したいといった思いが実現できるまち
③「訪れてもよい」子どもらが地元と郷土に親しむことで地域に誇りを持ち、訪れた方に対するおもてなしの心が豊かなまち

そして、将来像の実現に向け、様々なモデル事業が実施されています。

区民主なモデル事業

NPOや他元スーパーマーケット、大学など多様な団体が連携して、地域でグローバルなネットワークを行うことで、地域の力が広がりつつあり

①地域力の強化（住んでよい）

②働きやすい環境の整備（働きよく）

③郷土愛の醸成（訪れてもよい）

まちづくり協創 in 堺区 - 進取の気風 -

TODAY’S PROGRAM

平成30年11月18日[日] 10:30～11:40 [一部15:00]
場所 堺市役所本館1階エントランスホール
入場無料
主催：堺区役所